

<p>種名</p>	<p style="text-align: center;">ヨシノボリ類 <u>Rhinogobius brunneus complex</u></p> 
<p>分類</p>	<p>ハゼ科ハゼ亜科ヨシノボリ属</p>
<p>俗称</p>	<p>ゴリ(普通種のハゼ類に対する呼称)</p>
<p>形態的な特徴</p>	<p>形態はごく一般的なハゼの形をしており、腹鰭は変形して吸盤状になっている。オスの第一背鰭の先は伸び、メスは丸いのがふつう。近年ではヨシノボリ類の斑紋や色彩などにより少なくとも9種に分類されている。全長は5～10cmほどになる。</p>
<p>分布</p>	<p>日本各地にさまざまな種類のヨシノボリ類が生息している。</p>
<p>繁殖行動</p>	<p>産卵期は種によって異なるが、その産卵形態の多くは石の下に巣を作りその石の裏側に卵を産みつけ、オスが保護する。</p>
<p>生息場所</p>	<p>河川の中だけで一生を過ごす河川陸封型と湖沼を海の代用として一生を淡水域で過ごす湖沼陸封型の二タイプがある。一般的に砂礫から礫底を好む。</p>
<p>食性</p>	<p>食性は雑食性。</p>
<p>生息環境への配慮事項</p>	<p>トウヨシノボリ、カワヨシノボリなどは比較的普通に見られる種であるが、アオバラヨシノボリ、キバラヨシノボリなどのように減少している種もある。分布域がごく狭い範囲に限られているアオバラヨシノボリやキバラヨシノボリが生息地の開発などにより減少しているため、保全の必要性がある。それ以外の種においても生息適地の消失により今後減少の可能性も考えられる。これらの生息水域を保全していく必要がある。</p>
<p>引用文献：http://www.maff.go.jp/nouson/mizu_midori/menu/main.html を改変</p>	